

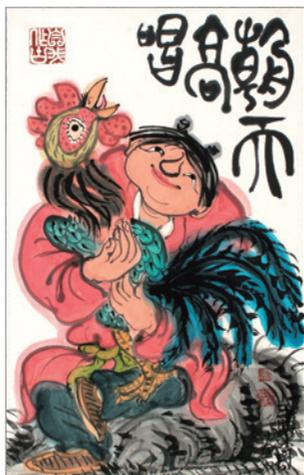
所蔵コレクション

しゆくさんぼう 粛 祭 寶 について

[明治35年(1902) - 平成6年(1994)]



明治35年新潟市西堀生まれ。本名は水島太郎。花鳥風月・人物画など独特の画風を構築し、高い人気を博した。上京後、洋画家の黒田清輝に学び、のち日本画家の小林古径に学ぶ。帝展・院展入選。奈良の古寺での寄食生活を経て、再び作家活動に入り、以降没するまで60年近く画業一筋の人生であった。



交通のご案内

■バスで

- 新潟駅(万代口)より (【1~3】全て ▶「西大畑坂上」下車徒歩5分)
- 【1】新潟交通バス(C20)『浜浦町經由西部営業所行』
- 【2】新潟交通バス(C21)『浜浦町經由信濃町行』
- 【3】新潟交通バス(C22)『水族館前行』

- 新潟交通バス
「東中通」下車徒歩15分

■タクシーで

新潟駅(万代口)より約15分

■徒歩で

古町十字路より徒歩15分

■自動車で

- 【1】日本海東北自動車道新潟亀田ICを下り、柳都大橋經由約25分
- 【2】国道8号線(新潟バイパス)桜木ICを下り、昭和大橋經由約20分
- 【3】国道8号線(新潟バイパス)紫竹山ICを下り、柳都大橋經由約20分



利用案内

- 開館時間 午前10時30分～午後6時 (入館は5時30分まで)
※特別イベント開催や季節等により開館時間を変更する場合がございます。
- 休館日 月曜日 ※祝日または振替休日が月曜日の場合はその翌日。
展示替え期間

観覧料 (2F・第1展示室のみ)

	個人	団体(20名以上)
大人	300円	200円
専門学校生・大学生	200円	100円
高校生以下	無料	無料

※学生の方は学生証等の提示をお願い致します。

これからのアートを創る NSG美術館

〒951-8101 新潟市中央区西船見町5932番地561
TEL: 025-378-3773 FAX: 025-378-3772
メールアドレス: nsg-artmuseum@nsg.gr.jp
ホームページ: <https://www.nsg-artmuseum.jp>

これからのアートを創る NSG美術館

展覧会スケジュール
2023.4~2024.3



表紙 画: 高橋康男

企画展覧会



吉田志麻 木版画の世界
時を刻む — アフリカ-マサイ-サド —

2023年4月1日(土) ▶ 5月21日(日)

海から昇る太陽に神々を感じ、広大なマサイマラの絶景に神秘と宇宙をかぎりなく感じ胸ドキメカセ私は祈る。永遠の美しさと人と生き物の躍動を、心と全身で受け止め作品に刻み込む。そして私を生み育んだ佐渡に息づく、自然と伝統芸能と暮らしを刻した作品たちも併せて発表します。

吉田 志麻

吉田 志麻

佐渡市両津生まれ。〈個展〉国連本部(ニューヨーク)、キャストアイアンギャラリー(ニューヨーク)、伊勢丹新宿店、美術画廊 他多数。〈作品収蔵〉新潟県立近代美術館 他。〈所属〉日本版画協会会員、国画会会員、日本美術家連盟会員、県展参与・無鑑査、新潟市美術協会理事。

青春ジャンボ

第38回 新潟デザイン専門学校 卒業制作・修了制作展
— デザイン展 — アンコール

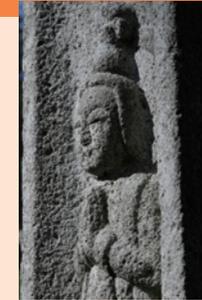
2023年6月10日(土) ▶ 7月30日(日)



2023年2月に新潟市民芸術文化会館でデザイン展を開催。1年間の集大成としてこれまで学んだ事を活かし、卒業制作・修了制作として企画立案からデジタル・アナログなどの様々な表現・展開をした作品が並ぶ。各学科内でプレゼンテーションを行い「優秀賞」「作品賞」「特別賞」に選ばれた作品と、2月のデザイン展で「優秀賞」作品の中から審査され受賞したグランプリ作品や協賛社賞作品も展示される。

鈴木孝枝展 — 石仏巡礼 —

2023年8月19日(土) ▶ 10月8日(日)



三国峠〜湯沢

石の仏が田舎道の脇に立っている。気をつけて見ていくと、頬に手をあて穏やかな表情の顔、また、槍、弓矢、剣など道具を沢山手に持っているもの、男女仲むつまじく寄りそっているもの、それは石であり石ではない気配を感じた。これを被写体として、カメラに納めてみようと思ったのが始まりだった。いろいろ考え、人々が刻んだ歴史の道「街道」に焦点を絞り、13の街道を選び撮影が始まった。その中から今回は70点余りを展示する。 鈴木 孝枝

鈴木 孝枝

1946年(昭和21)新潟県新潟市生まれ。1988年写真展「中国・シルクロード」(新潟大和デパート)。2005年十日町市産業振興功労賞受賞。2014年写真集「石仏巡礼」出版。2016年写真展「越後の石仏」(フランス・ナント市)現在:ライフワークとして「石仏巡礼」を精力的に撮影中。

NSG美術館 展覧会スケジュール

※展覧会準備期間は完全休館となります。

吉田志麻 木版画の世界 時を刻む — アフリカ-マサイ-サド —
上原木呂・付喪神と妖怪画展

第38回 新潟デザイン専門学校 卒業制作・修了制作展 — デザイン展 — アンコール
肅祭寶の生きもの展

鈴木孝枝展 — 石仏巡礼 —

2023	4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September																					
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat							
						1		1	2	3	4	5	6							1	2						
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	18	19					
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	13	14	15	16	17	18	19	20	21					
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31				20	21	22	23	24	25	26	27	28					
30														27	28	29	30	31									
10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March																						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1							1														1
1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11	4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	9
8	9	10	11	12	13	14	12	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17	10	11	12	13	14	15	16
15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	25	12	13	14	15	16	17	18	17	18	19	20	21	22	23
22	23	24	25	26	27	28	26	27	28	29	30			18	19	20	21	22	23	24	24	25	26	27	28	29	30
29	30	31					26	27	28	29	30			25	26	27	28	29			31						

上原木呂・付喪神と妖怪画展

【併行展示】暁斎、北斎の妖怪画

2023年10月28日(土) ▶ 12月17日(日)



つくも神 楽画
— 古銭・算盤 —

長い年月を経た事物には精霊(付喪神・つくも神)が宿る。この展覧会は地域に残る民具や布に宿る精霊や妖怪、また作者オリジナルの大妖怪絵巻の一部を展示。また加えて画狂人北斎、画鬼暁斎ら天才絵師の妖怪画を、木版画を中心に展示する。

上原 木呂

上原 木呂

1948年新潟生まれ。ドイツレーゲンスブルグ市立美術館、中国銀川現代美術館、志賀高原ロマン美術館、河鍋暁斎記念美術館など国内外で展示多数。マックス・エルンスト、ヤン・シュヴァンクマイエルと共同展。

しゅくさんぼう
肅祭寶の生きもの展

2024年1月20日(土) ▶ 2月29日(木)



蔵六礼讃

弊館で所蔵しております肅祭寶(新潟市西堀生まれの日本画家)は、花鳥風月、人物画、仏画などで独特の画風を構築し、高い人気を博しました。今回の展覧会では、中でも多く描かれた「生きもの」をテーマとしました。鳥と戯れる童子、花の間を闊歩する鳥、虎や鹿にまたがる童子、水の中を悠々と泳ぐ魚、鳥と語らう蟹など、それぞれがとても魅力的に描かれています。独特の画風で描かれデフォルメされたユーモラスな鳥、動物、水生動物たちの生き生きとした姿をお楽しみください。

